

ピアカウンセリング実践研修会Ⅰ・Ⅱ



昨年に引き続き、ピアカウンセリングの研修会を平成19年8月4日(土)と18日(土)、甲府市障害者センターに於いて、臨床心理士 宮崎美千代先生を講師にお迎えし、開催しました。今年度は、より実践的なスキルを習得し、ピアカウンセリングの質の向上をはかることを目的とした研修を行いました。参加者は、難病の患者・家族会でピア相談を実践している方、初参加者を合

わせて、第1回11名、第2回12名でした。研修会は、相談場面を想定したロールプレイングを行い、観察者からのフィードバックをもとに、グループ内でふり返り、自己の傾向や課題を知る内容でした。

参加者からは、「不安だったが参加してよかった、楽しかった」「このような研修を重ねる必要がある」などの感想・意見が寄せられました。



パーキンソン病ピア相談会



平成19年9月1日(土)パーキンソン病ピア相談会を開催しました。6ケース10名が利用され、山梨パーキンソン病友の会会員2名が、症状、薬、医師との関係、リハビリテーション方法などの相談に個別に応じました。

利用者には、「親身になって相談に応じてもらった」「対応が優しく感謝している」「不安感がなくなった」「度々利用したい」等、満足していただくことができました。

山梨県難病センターだより

NO. 4 (2007年10月)
編集・発行
山梨県難病相談・支援センター
所在地：甲府市太田町9-1
中北保健福祉事務所1F
TEL・FAX：(055)223-3241

山梨県難病相談・支援センターの 前進のために



山梨県患者・家族団体協議会
代表幹事 新津 淳

今年5月、全都道府県に難病相談・支援センターが設置されました。これは、難病患者・家族にとって画期的な成果です。

山梨県難病相談・支援センターのこれまでの2年間をふり返ると、センターの運営を患者会に委託した行政側も、受託した患者会の側も、ともに試行錯誤を重ねながら、一歩、一歩、改善の方途をさぐり、努力して運営に習熟してきた2年間であったと言えるでしょう。私は、5月20日に開かれた第5回総会で、相談・支援員の「平成19年度事業計画についての報告」が行われたことに「習熟」の証明を見ました。また、今年度に入ってから「相談件数」が昨年同期比で2倍に増加していることも、センターの存在と活動に対する県民の信頼と期待が広がりつつある現われを感じています。しかし、発足以来の念願でありながら、なお解決・打開に至らない課題に直面している現状でもあります。

その1は、相談・支援センターの「相談力」を高める支援ネットワークの構築です。その2は、現在の難病相談・支援センターが、福祉機器の展示も、患者会の交流もできない「広さ」という問題です。この2つは、他県のセンターと比較した場合、当センターの最大の課題といわなければなりません。難病患者・家族の交流の拠点としてのセンターという基本的「必要条件」を1日も早く備えるために、行政と患者団体の双方が協力し、2つの課題を克服する取り組みが求められています。

今後の展望と課題は、患者・家族団体がセンター運営の主体であるという山梨県の優れた条件を生かして、すべての難病患者会がピアカウンセリング活動を積極的に展開すること、難病相談・支援センターを軸とした活動を重視して明確に位置づける必要があります。難病患者さんとその家族の皆さんにとって、同じ病気の仲間は、主治医にも言えない相談を気楽にできる仲間です。体験の交流・話し合いを通して、励ましと癒しを相互に分ち合える仲間です。

平成19年度事業計画

- 6月30日 運動機能障害のある難病患者の住まいを考える講演会
- 7月15日 膠原病個別医療相談会・交流会
- 8月4日 ピアカウンセリング実践研修会Ⅰ
- 8月18日 ピアカウンセリング実践研修会Ⅱ
- 9月1日 パーキンソン病ピア相談会
- 9月8日 脊柱靭帯骨化症学習会・交流会
- 9月29日 筋萎縮性側索硬化症(ALS)生活相談会
- 10月 山梨県難病センターだよりNO.4発行
- 10月6日 網膜色素変性症ピア相談会
- 10月20日 パーキンソン病研修会-進行期パーキンソン病患者の理解と介護-
- 11月10日 難病患者・家族交流会
- 11月18日 神経系難病 個別医療・生活相談会
- 12月1日 網膜色素変性症ピア相談会
- 12月2日 難病患者の就労に関する講演会・情報交換会
- 1月19日 若年性パーキンソニズムのつらい
- 1月26日 パーキンソン病ピア相談会
- 2月3日 炎症性腸疾患医療講演会・相談会
- 2月23日 筋萎縮性側索硬化症(ALS)生活相談会
- 3月 山梨県難病センターだよりNO.5発行

<年間を通じて>

- ◆電話・面接による療養、日常生活、各種公的手続き等に対する相談・支援
- ◆難病関係の図書の貸出
- ◆ホームページによる情報の提供
<http://www.nanbyou-soudan.jp>
- ◆地域交流会等の活動の支援
- ◆難病患者の就労支援

難病相談・支援センターでは、難病関係の図書の閲覧・貸出を行っています。貸出期間は2週間、延長する場合は、ご連絡頂ければ対応いたします。利用時間：土日曜、祝祭日を除く、9:00~16:00です。お気軽にご利用ください。下記に新たな蔵書の一部をご紹介します。



- ①NPO法人日本炎症性腸疾患協会編集：IBDチーム医療ハンドブック，文光堂，2006。
- ②阿部康二編著：神経難病のすべて～症状・診断から最先端治療，福祉の実際まで～，新興医学出版社，2007。
- ③岡田芳子他編集，片山容一監修：パーキンソン病患者の自由への扉 脳深部刺激術(DBS)体験記集，APPLE運営仲間の会，2004。
- ④厚生労働省強皮症調査研究班編リフレット：強皮症がわかる，2004。
- ⑤竹原和彦・他作成総括：強皮症における診断基準・重症度分類・治療指針2007改訂版，2007。

インフォメーションコーナー



一緒に秋を楽しみませんか！ 難病患者・家族交流会のご案内

日時・平成19年11月10日(土)
11:00~16:00
場所・富士川クラフトパーク
ふるさと工芸館2F会議室
身延町下山1597
会費・700円(弁当・飲み物代)
申込締切・10月25日

話してみませんか！ 若年性パーキンソニズムのこと

日時・平成20年1月19日(土)
13:30~15:30
場所・甲府市障害者センター1F
甲府市東光寺1-10-25
対象者・40歳代迄のパーキンソン病の方
参加費・無料
申込・不要

利用してみませんか！ピア相談

ピア(peer)とは仲間を意味します。ピア相談は、同じ病気をもつ仲間同士の中で、話を聴くことによって、問題解決を支援するものです。相談は無料です。相談内容は守秘致します。相談は予約が必要です。
対象疾患：パーキンソン病
筋萎縮性側索硬化症
網膜色素変性症

編集後記

さわやかな秋風にコスモスの花がゆれる季節を迎えました。当センターは、開設3年目を迎え、より良いセンターを目指して歩みを進めております。本号では、18年度相談状況、今年度前期事業の様子を取り上げました。センターだよりのご感想、センターへのご意見、ご要望をお寄せください。お待ちしております。

